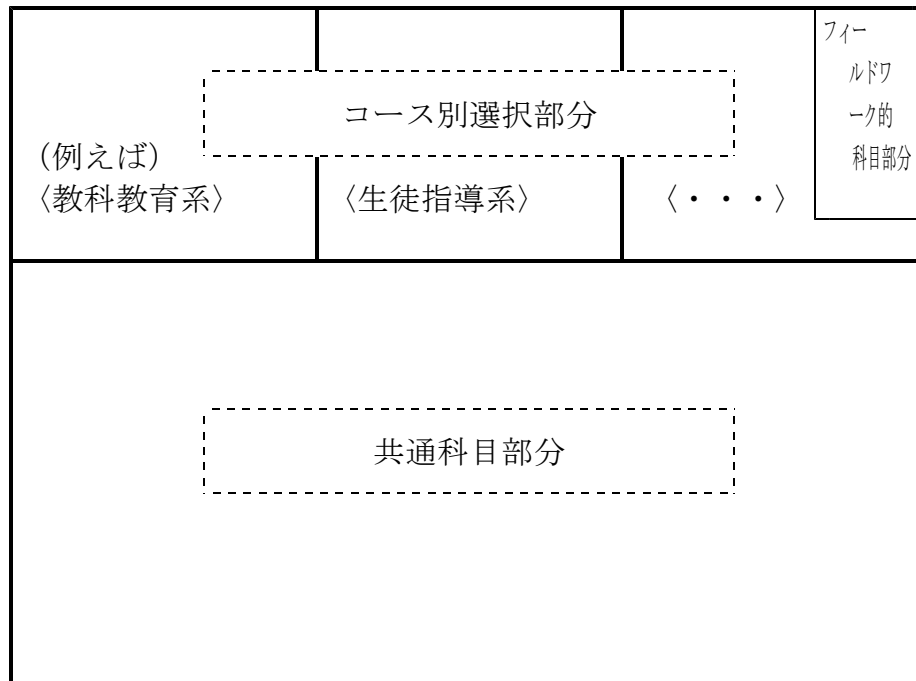


専門職大学院におけるモデルカリキュラムの検討に当たって必要な視点（例）

1. 全体構造（イメージ）

- 「共通科目（基本科目）部分」
- 「コース（分野）別選択部分」



- ① 「共通科目（基本科目）部分」「コース（分野）選択部分」の量的バランスをどう考えるか。また、最大公約数としてどの程度を共通化（制度化）するか。
- ② 現職教員学生と学部新卒者の間では、教育課程はどの程度区別されるべきか。

2. 「共通科目（基本科目）部分」

- ① 内容をどのように考えるか。
 - ・ 教育課程系科目
 - ・ 生徒指導・教育臨床系科目
 - ・ 学校経営系科目
 - ・ 教育行政・社会学系科目 …など

(※) 次のようなものをどう考えるか。

- ・ 教育原理系科目
- ・ 特別支援教育系科目

- ② 最大公約数としてどの程度を共通化（制度化）するか。

3. 「コース（分野）別選択部分」

- ① 内容をどのように考えるか。
- ② コース（分野）別選択部分における「フィールドワーク科目（総合研究科目）」の内容・量的バランスをどのように考えるか。
- ③ 選択部分に、コース毎の選択のほか、個人選択を含めるか（どの程度含めるか）否か。
- ④ 最大公約数としてどの程度を共通化（制度化）するか。

(※) コースとして想定し得る例（イメージ）

- ・ 教科教育コース
- ・ 学級・学年（学校）経営コース
- ・ 生徒指導コース
- ・ 特別支援教育コース

4. その他